

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

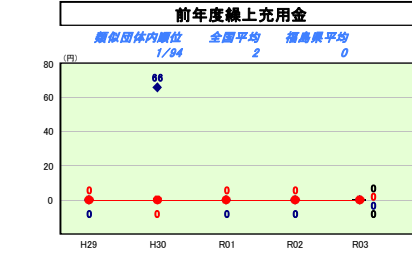
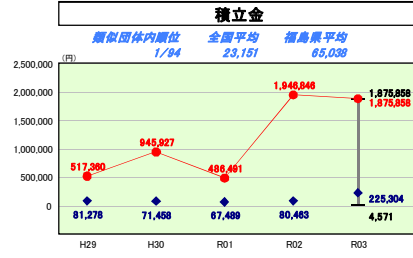
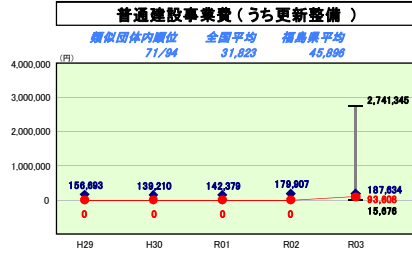
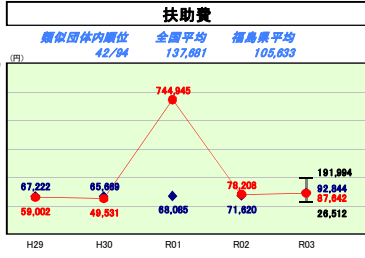
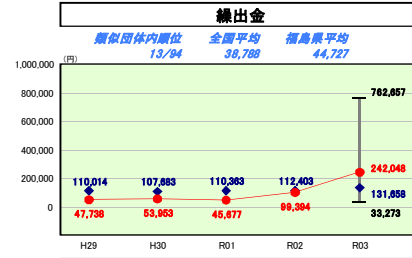
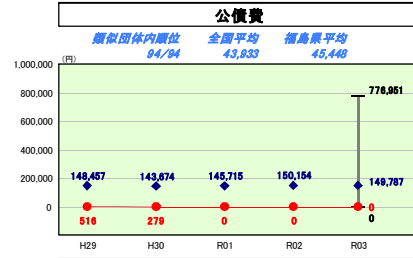
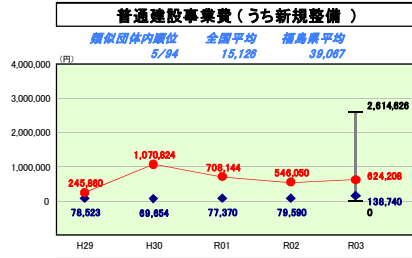
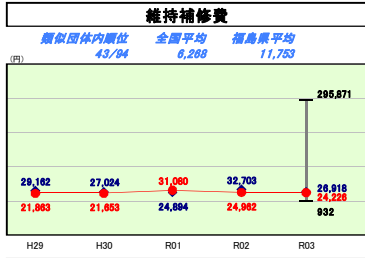
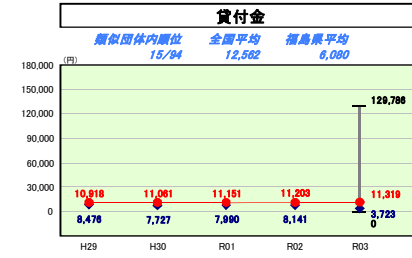
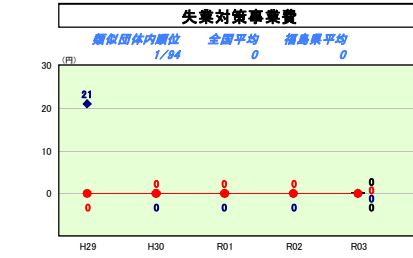
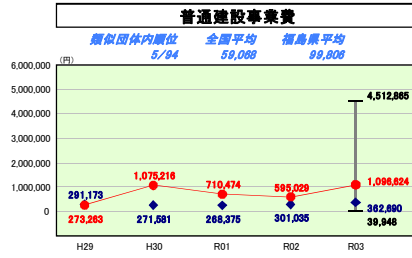
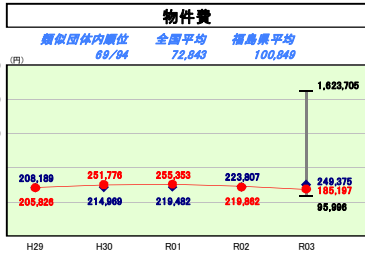
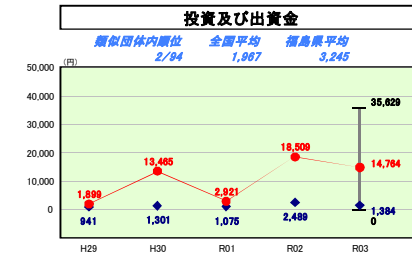
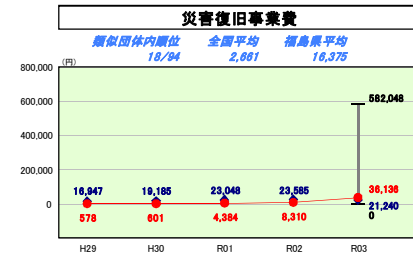
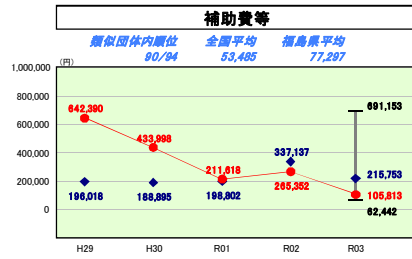
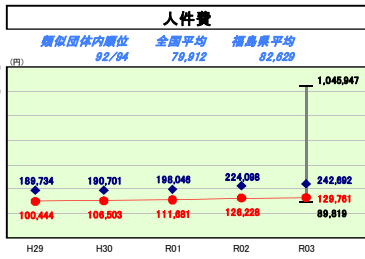
令和3年度

福島県大熊町

人口	10,180人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	10,115人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	78.71k㎡	実質公債費比率	-2.2	%
歳入総額	43,107,963千円	特措負担比率	-	%
歳出総額	38,703,372千円	市町村類型	H29 I-O H30 I-O R01 I-O	
実質収支	565,996千円	(年度毎)	R02 I-O R03 I-2	
標準財政規模	5,282,193千円			
地方債残高	0千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析
 住民一人当たりのコストは3,541,257円となり、前年と比較して147,353円増となった。これは補助費等が前年度比159,539円減、積立金が前年度比70,988円減となったが、普通建設事業費が前年度比501,595円増で位となったことが主な要因である。普通建設事業費は類似団体の平均を大きく上回っているが、これは今年度度公共施設等の復旧復興事業が増加したことが要因である。普通建設事業(新規)や基金取崩事業のための積立金については、今後多くの復興事業が計画されることから、当面の間、類似団体よりも高い水準で推移すると見込んでいる。